

「JISA 版 NTC プロジェクト」第 4 期活動結果概要報告

本年度の NTC プロジェクト 課題探索・解決プログラム優秀賞は「外国人住民⇄地域を双方向に結ぶ情報プラットフォーム」チームが受賞

人材委員会では、令和 7 年 6 月より 10 月までの 5 か月間、我が国トップレベルのデジタル人材の育成を目的にした「JISA 版 NTC プロジェクト」を開講してきた。7 月から実施した課題探索・解決プログラムでは、群馬県をフィールドに『多文化共生』を課題領域とし、課題の探索や解決案の検討・提案に取り組んだ。

群馬県県庁関係者からの選定と、JISA 人材委員会において、課題の探索、課題解決のアプローチ、プレゼンテーション力総合評価の 3 項目で評価をし、優れた取り組みとして優秀賞を以下チームに授与した。

「外国人住民⇄地域を双方向に結ぶ情報プラットフォーム」

株式会社ビッツ 紺野 卓也

株式会社 TOKAI コミュニケーションズ 鈴木 雄稀

株式会社中電シーティーアイ 西山 裕基

1. 概要

問題

- ✕ 外国人住民に対し、国や自治体の支援や生活ルールの情報が十分に届いていない
- ✕ 困りごとの相談先がわからない・自治体に相談しづらい状況の外国人住民がいる（時間・場所・言語の制約）

提供する価値・ゴール

外国人住民に、情報と相談の場をスマホ1つで結ぶプラットフォーム「MUSUBIME」

- ✓ 外国人住民に、パーソナライズした情報・導線や、相談の場を届け、制度を利活用して、暮らしやすくなること
- ✓ 外国人住民の声を可視化し、国・自治体が支援しやすくなること

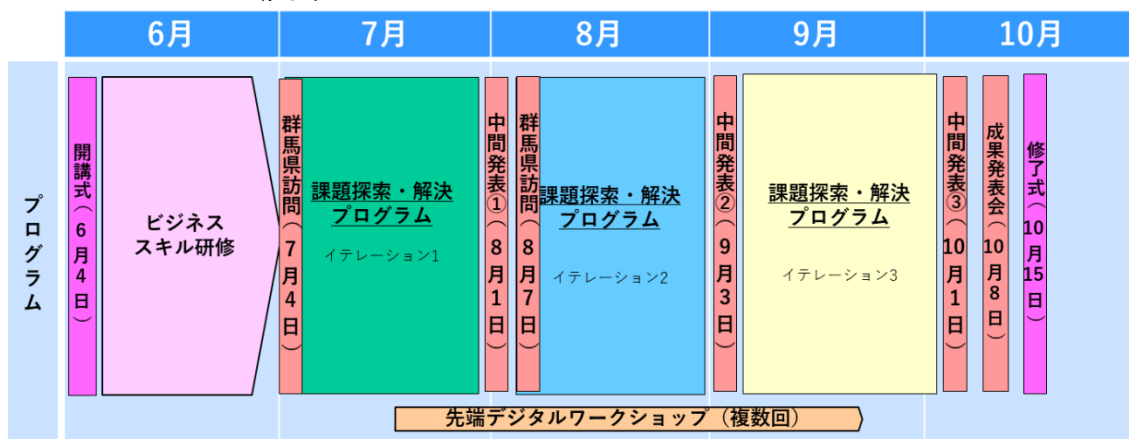


【優秀賞選定理由】

外国人住民に必要な支援情報が届いていないことについて、生成 AI を活用した次世代型の案内・相談機能と、コミュニティによる人間系支援を併用し、支援情報を受動的かつ双方向で的確に届けようとする構想を高く評価した。

なお、外国人労働者の構造的課題の本質を粘り強く探究した「多文化共生を阻む“見えないコスト”とは？～その負担、必要？～」(情報技術開発株式会社 片野 知俊 JFE システムズ株式会社 草地 雄佑 株式会社リンクレア 小宮 秀平) を人材委員長賞として称えた。

■ プログラムの概要について



■ 課題探索・解決プログラムでの発表について

7月より取り組んでいた課題探索・解決プログラムでは、10月9日(木)群馬県庁32階の官民共創スペース「Netsugen (ネツゲン)」において、3チームが検討してきた内容について報告会が開催された。

- ・「食」から始める多文化共生～「もぐろ一ぱる」の提案～
- ・外国人住民⇄地域を双方向に結ぶ情報プラットフォーム
- ・多文化共生を阻む“見えないコスト”とは？ ～その負担、必要？～

【当日の発表動画】 <https://youtu.be/RDH94GaO-H4>



2025年10月30日修了式